

鮭川村の給与・定員管理等について

1 総括

(1) 人件費の状況（普通会計決算）

| 区分 | 住民基本台帳人口 (28年1月1日) | 歳出額 A | 実質収支 | 人件費 B | 人件費率 B/A | (参考) 26年度の人件費率 |
|------|-----------------------|-----------|---------|----------|-------------|-------------------|
| | 人 | 千円 | 千円 | 千円 | % | % |
| 27年度 | 4,543 | 3,871,224 | 274,138 | 628,080 | 16.2 | 16.8 |

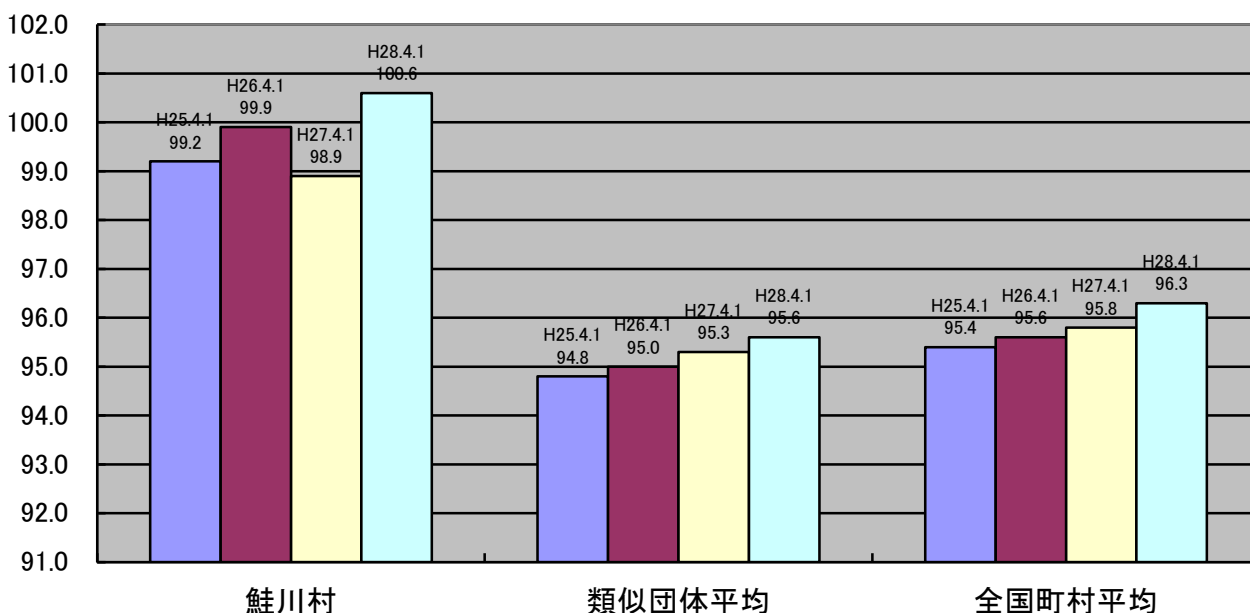
(2) 職員給与費の状況（普通会計決算）

| 区分 | 職員数 A | 給与費 | | | |
|------|----------|---------|--------|---------|---------|
| | | 給料 | 職員手当 | 期末・勤勉手当 | 計 B |
| | 人 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 27年度 | 72 | 252,991 | 21,766 | 93,380 | 368,137 |

| (参考)一人当たり給与費 B/A | (参考)類似団体平均一人当たり給与費 |
|---------------------|--------------------|
| 千円 | 千円 |
| 5,113 | 5,459 |

- (注) 1 職員手当には退職手当を含まない。
 2 職員数は、平成27年4月1日現在の人数である。
 3 給与費については、任期付短時間勤務職員（再任用職員（短時間勤務））の給与費が含まれており、職員数には当該職員を含んでいない。

(3) ラスパイレス指数の状況



- (注) 1 ラスパイレス指数とは、全地方公共団体の一般行政職の給料月額を同一の基準で比較するため、国の職員数（構成）を用いて、学歴や経験年数の差による影響を補正し、国の行政職俸給表（一）適用職員の俸給月額を100として計算した指数。
 2 類似団体平均とは、人口規模、産業構造が類似している団体のラスパイレス指数を単純平均したものである。
 3 平成25年は、国家公務員の時限的な（2年間）給与改定・臨時特例法による給与減額措置がないとした場合の値である。

※ 28年4月1日のラスパイレス指数が、①3年前に比べ1ポイント以上上昇している場合、
②3年連続で上昇している場合、③100を超えている場合について、その理由及び改善の見込み

| |
|---|
| <p>●山形県に準じた給料表によって支給しているが、改定の増額幅が大きい30歳以下職員の割合が多いため（平均年齢37.2歳）。</p> <p>●高卒の30～35年の階層において、国における平均月額がH27年比で△32百円となっているのに対し、本村においては同階層内職員に増減等の異動がなく、また職員数が少ないことから平均額を算出しても平準化せずに昇給分が直に増額分となってしまう。また、本階層内の職員は高齢職員としての抑制措置も受けなため平均月額も下らない。</p> <p>●指数を下げる要因となっていた前歴を有する職員が一般行政職ではなくなったため。</p> <p>●早期退職等に伴う人事異動により、在級年数の比較的短い職員も昇格し給料月額が増額、平均給料月額を押し上げたため。</p> <p>【改善の見込み】</p> <p>職員の年齢、昇格など、団体の職員構成が主な起因となっており、短期的解消が困難なため5～10年程度の期間、毎年の変動を分析し、給与の適正化に努めていく。</p> |
|---|

(4) 給与改定の状況

①月例給

| 区分 | 人事委員会の勧告 | | | | 給与改定率 | (参考) 国の改定率 |
|------|-----------|------------|-------------|-------------|--------|---------------|
| | 民間給与 A | 公務員給与 B | 較差 A - B | 勧告 (改定率) | | |
| 28年度 | 円 — | 円 — | 円 (%) | % | % — | % — |

(注) 「民間給与」、「公務員給与」は、人事委員会勧告において公民の4月分の給与額をラスパイレス比較した平均給与月額である。

②特別給（期末・勤勉手当）

| 区分 | 人事委員会の勧告 | | | | 年間支給月数 | (参考) 国の年間 支給月数 |
|------|---------------|----------------|-------------|--------------|--------|----------------------|
| | 民間の支給 割合 A | 公務員の 支給月数 B | 較差 A - B | 勧告 (改定月数) | | |
| 28年度 | 月 — | 月 — | 月 — | 月 — | 月 — | 月 — |

(注) 「民間の支給割合」は民間事業所で支払われた賞与等の特別給の年間支給割合、「公務員の支給月数」は期末手当及び勤勉手当の年間支給月数である。

(5) 給与制度の総合的見直しの実施状況について

【概要】国の給与制度の総合的見直しにおいては、俸給表の水準の平均2%の引下げ及び地域手当の支給割合の見直し等に取り組むとされている。

①給料表の見直し

[実施 未実施]

実施内容（平均引下げ率、実施（実施予定）時期、経過措置の有無等具体的な内容（未実施

の場合には、その理由)

(給料表の改定実施時期) 平成27年4月1日
 (内容) 山形県の見直し内容を踏まえ改定。激変緩和のため、3年間(平成30年3月31日まで)経過措置(現給保障)を実施。

②地域手当の見直し

実施内容(国基準における場合の支給割合及び当該団体の支給割合)

平成27年度の支給割合: 国基準による支給割合 0% 鮭川村の支給割合 0%
 平成28年度の支給割合: 国基準による支給割合 0% 鮭川村の支給割合 0%

③その他の見直し内容

(6)特記事項

2 職員の平均給与月額、初任給等の状況

(1) 職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況(28年4月1日現在)

①一般行政職

| 区分 | 平均年齢 | 平均給料月額 | 平均給与月額 | 平均給与月額 (国比較ベース) |
|------|--------|-----------|-----------|--------------------|
| 鮭川村 | 37.2 歳 | 289,564 円 | 330,704 円 | 311,334 円 |
| 山形県 | 44.3 歳 | 345,300 円 | 427,900 円 | 371,800 円 |
| 国 | 43.6 歳 | 331,816 円 | — | 410,984 円 |
| 類似団体 | 40.9 歳 | 297,503 円 | 339,537 円 | 326,381 円 |

②技能労務職

| 区分 | 公務員 | | | | | 民間 | | | 参考 A/B |
|----------|---------|--------|-----------|------------------|-----------------------|-------------|---------|------------------|-----------|
| | 平均年齢(歳) | 職員数(人) | 平均給料月額(円) | 平均給与月額(A) (円) | 平均給与月額(国比較ベース) (円) | 対応する民間の類似職種 | 平均年齢(歳) | 平均給与月額(B) (円) | |
| 鮭川村 | 44.2 | 8 | 285,738 | 300,039 | 296,066 | — | — | — | — |
| うち用務員 | ※ | 1 | ※ | ※ | ※ | 用務員 | 55.2 | 199,900 | — |
| うち学校給食 | ※ | 2 | ※ | ※ | ※ | 調理師 | 41.1 | 219,700 | — |
| うち自動車運転手 | 50.9 | 3 | 309,667 | 330,355 | 324,027 | 自動車運転手 | 50.5 | 181,000 | 1.83 |
| 山形県 | 47.9 | 508 | 338,700 | 377,600 | 358,300 | — | — | — | — |
| 国 | 50.4 | 2,876 | 287,447 | — | 329,358 | — | — | — | — |
| 類似団体 | 49.3 | 2 | 287,296 | 311,250 | 302,527 | — | — | — | — |

| 区 分 | 参 考 | | |
|----------|---------------|-----------|-----|
| | 年収ベース（試算値）の比較 | | |
| | 公務員 （C） | 民間 （D） | C/D |
| 鮭川村 | — | — | — |
| うち用務員 | ※ | 2,732,900 | — |
| うち学校給食 | ※ | 2,912,700 | — |
| うち自動車運転手 | 5,646,863 | 2,419,000 | — |

※民間データは、賃金構造基本統計調査において公表されているデータを使用している（平成25年～27年の3ヶ年平均）。

※技能労務職の職種と民間の職種等の比較にあたり、年齢、業務内容、雇用形態等の点において完全に一致しているものではない。

※年収ベースの「公務員（C）」及び「民間（D）」のデータは、それぞれ平均給与月額を1.2倍したものに、公務員においては前年度に支給された期末・勤勉手当、民間においては前年に支給された年間賞与の額を加えた試算値である。

- (注) 1 「平均給料月額」とは、28年4月1日現在における各職種ごとの職員の基本給の平均である。
- 2 「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、地域手当、住居手当、時間外勤務手当などのすべての諸手当の額を合計したものであり、地方公務員給与実態調査において明らかにされているものである。
- また、「平均給与月額（国比較ベース）」は、比較のため、国家公務員と同じベース（＝時間外勤務手当等を除いたもの）で算出している。

(2) 職員の初任給の状況（28年4月1日現在）

| 区 分 | | 鮭 川 村 | 山 形 県 | 国 |
|-------|-------|-----------|-----------|-----------|
| 一般行政職 | 大 学 卒 | 169,900 円 | 180,700 円 | 176,700 円 |
| | 高 校 卒 | 147,900 円 | 147,900 円 | 144,600 円 |
| 技能労務職 | 高 校 卒 | 143,300 円 | 143,300 円 | — |
| | 中 学 卒 | 135,000 円 | 130,200 円 | — |

(3) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況（28年4月1日現在）

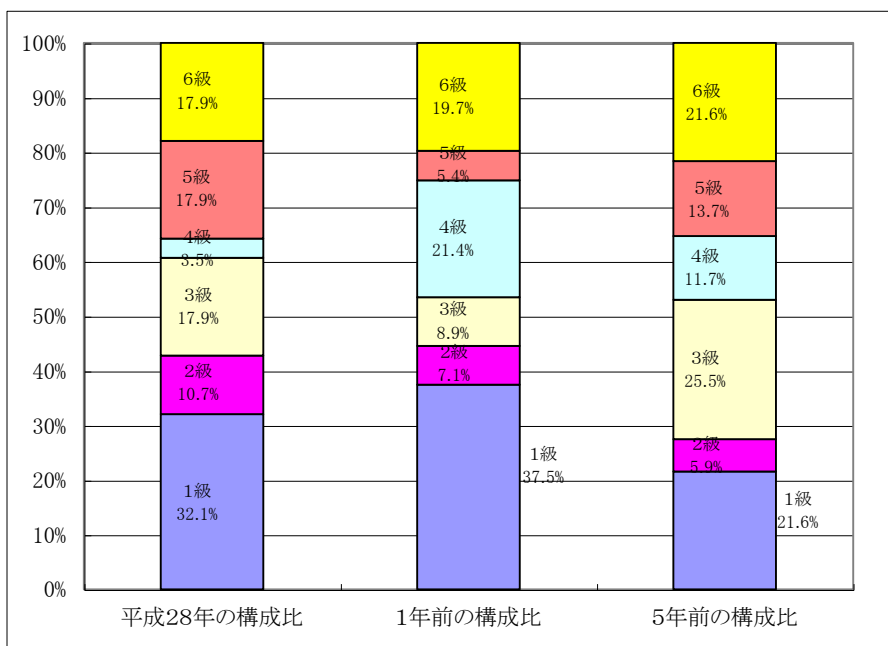
| 区 分 | | 経験年数10年 | 経験年数20年 | 経験年数25年 | 経験年数30年 |
|-------|-------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 一般行政職 | 大 学 卒 | 269,500 円 | 314,200 円 | 361,100 円 | — 円 |
| | 高 校 卒 | 216,200 円 | 320,300 円 | 320,300 円 | 389,800 円 |
| 技能労務職 | 高 校 卒 | — 円 | — 円 | — 円 | — 円 |
| | 中 学 卒 | 219,500 円 | — 円 | — 円 | 326,600 円 |

3 一般行政職の級別職員数等の状況

(1) 一般行政職の級別職員数及び給料表の状況（28年4月1日現在）

| 区分 | 標準的な職務内容 | 職員数 | 構成比 | 1号給の給料月額 | 最高号給の給料月額 |
|----|----------|-----|-------|----------|-----------|
| 1級 | 主事補、主事等 | 18人 | 32.1% | 143,300円 | 251,700円 |
| 2級 | 主任 | 6人 | 10.7% | 194,500円 | 309,900円 |
| 3級 | 係長 | 10人 | 17.9% | 231,600円 | 356,800円 |
| 4級 | 冠主査 | 2人 | 3.5% | 265,900円 | 388,500円 |
| 5級 | 課長補佐 | 10人 | 17.9% | 292,800円 | 400,800円 |
| 6級 | 課長等 | 10人 | 17.9% | 324,300円 | 418,400円 |

- (注) 1 鮭川村の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数である。
 2 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務である。



(注) 平成18年に8級制から6級制に変更している。（旧給料表の1級及び2級並びに4級及び5級をそれぞれ統合）

(2) 昇給への勤務成績の反映状況

| 平成 28 年 4 月 2 日から平成 29 年 4 月 1 日 までにおける運用 | 鮭川村 | | 国 | |
|--|------|------|------------|------|
| | 管理職員 | 一般職員 | 特定管理 職員 | 一般職員 |
| イ 人事評価を実施した | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 標準に加え、上位及び下位の区分も適用 | | | ○ | ○ |
| 標準に加え、上位の区分も適用 | | | | |
| 標準に加え、下位の区分も適用 | | | | |
| 標準の区分のみ適用 | ○ | ○ | | |
| ロ 人事評価を実施していない | | | | |

4 職員の手当の状況

(1) 期末手当・勤勉手当

| 鮭川村 | 山形県 | 国 |
|---|--|--|
| 1人当たりの平均支給額（27年度） 1, 279 千円 | 1人当たりの平均支給額（27年度） 1, 664 千円 | — |
| (27年度支給割合) 期末手当 2.60月分 勤勉手当 1.60月分 (1.45)月分 (0.70)月分 | (27年度支給割合) 期末手当 2.55月分 勤勉手当 1.55月分 (1.40)月分 (0.75)月分 | (26年度支給割合) 期末手当 2.60月分 勤勉手当 1.60月分 (1.45)月分 (0.70)月分 |
| (加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5～15% | (加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5～20% ・管理職加算 15～25% | (加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5～20% ・管理職加算 15～25% |

(注) ()内は、再任用職員に係る支給割合である。

○ 勤勉手当への勤務成績の反映状況（一般行政職）

| 平成 28 年度中における運用 | 鮭川村 | | 国 | |
|---------------------|------|------|------------|------|
| | 管理職員 | 一般職員 | 特定管理 職員 | 一般職員 |
| イ 人事評価を実施した | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 標準に加え、上位及び下位の成績率も適用 | | | ○ | ○ |
| 標準に加え、上位の成績率も適用 | | | | |
| 標準に加え、下位の成績率も適用 | | | | |
| 標準の成績率のみ適用 | ○ | ○ | | |
| ロ 人事評価を実施していない | | | | |

(2) 退職手当（28年4月1日現在）

| 鮭川村 | | | 国 | | |
|--|----------|------------|---------------------------|----------|------------|
| (支給率) | 自己都合 | 応募認定・定年 | (支給率) | 自己都合 | 応募認定・定年 |
| 勤続20年 | 20.445月分 | 25.55625月分 | 勤続20年 | 20.445月分 | 25.55625月分 |
| 勤続25年 | 29.145月分 | 34.5825月分 | 勤続25年 | 29.145月分 | 34.5825月分 |
| 勤続35年 | 41.325月分 | 49.59月分 | 勤続35年 | 41.325月分 | 49.59月分 |
| 最高限度額 | 49.59月分 | 49.59月分 | 最高限度額 | 49.59月分 | 49.59月分 |
| その他の加算措置 | | | その他の加算措置 | | |
| 定年前早期退職特例措置 (割増率2～45%) | | | 定年前早期退職特例措置 (割増率2～45%) | | |
| (退職時特別昇給 50歳以上かつ勤続20年以上 4号(ただし55歳を超える職員は2号)) | | | | | |
| 1人当たり平均支給額 20,320千円 | | | | | |

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、27年度に退職した職員に支給された平均額である。

(3) 地域手当（28年4月1日現在）

制度なし。

(4) 特殊勤務手当（28年4月1日現在）

| 支給実績（27年度決算） | | | 0 千円 | |
|-------------------------|------------|------------------------------|------------------|------------------|
| 支給職員1人当たり平均支給年額（27年度決算） | | | 0 円 | |
| 職員全体に占める手当支給職員の割合（27年度） | | | 0 % | |
| 手当の種類（手当数） | | | 3 | |
| 手当の名称 | 主な支給対象職員 | 主な支給対象業務 | 支給実績 (26年度決算) | 左記職員に対する 支給単価 |
| 特定毒物作業手当 | 害虫防除作業の従事者 | 特定毒物の散布等作業 | 0 千円 | 日額300円 |
| 死体取扱作業手当 | 死体取扱作業の従事者 | 死体取扱作業（警察職員が行う死体検視の補助作業を含む。） | 0 千円 | 日額300円 |
| 災害危険手当 | 火災状況調査の従事者 | 火災時の火災現場における火災状況調査業務 | 0 千円 | 1回300円 |

(5) 時間外勤務手当

| | |
|----------------------|-----------|
| 支給実績（27年度決算） | 13,534 千円 |
| 職員1人当たり平均支給額（27年度決算） | 215 千円 |
| 支給実績（26年度決算） | 15,436 千円 |
| 職員1人当たり平均支給額（26年度決算） | 245 千円 |

(注) 職員1人当たり平均支給額を算出する際の職員数は、「支給実績（27年度決算）」と同じ年度の4月1日現在の総職員数（管理職員、教育職員等、制度上時間外勤務手当の支給対象とはならない職員を除く。）であり、短時間勤務職員を含む。

(6) その他の手当（平成28年4月1日現在）

| 手 当 名 | 内容及び支給単価 | 国の制度との異同 | 国の制度と異なる内容 | 支給実績 (27年度決算) | 支給職員1人当たり 平均支給年額 (27年度決算) |
|-----------|--|----------|---|------------------|---------------------------------|
| 扶養手当 | ・配偶者 月額13,000円 ・配偶者以外の1人につき 月額 6,500円 ・配偶者なしの1人まで 月額11,000円 ※満16歳の年度初めから満22歳の年度末までの子について1人につき5,000円加算 | 同じ | — | 4,423 千円 | 157,959 円 |
| 住居手当 | 借家 限度額月額27,000円 | 同じ | — | 1,866 千円 | 266,571 円 |
| 通勤手当 | ・交通機関利用 限度額月額55,000円 ・自動車等 通勤距離に応じて 月額2,500～31,300円 | 異なる | 国の制度 自動車等 通勤距離に応じて 月額2,000円 ～31,600円 | 4,445 千円 | 69,456 円 |
| 管理職手当 | ・課長,室長 41,600円 ・課内室長,主幹 20,800円 | 異なる | 国の制度 俸給の特別調 整額として支給 (46,300円 ～139,300円) | 4,742 千円 | 474,240 円 |
| 単身赴任手当 | 月額 基礎額 23,000円 + 距離に応じ加算 (最高加算額45,000円) | 異なる | 国の制度 月額基礎額 26,000円+距離 に応じ加算 (最高58,000 円) | 0 千円 | 0 円 |
| 休日勤務手当 | 祝日法による休日や年末年始等の正規の勤務時間に勤務した時間1時間あたり給与の100分の125～150 | 異なる | 国の制度 正規の勤務時間 に勤務した時間 1時間あたり給与 の100分の135 | 0 千円 | 0 円 |
| 夜間勤務手当 | 正規の勤務時間として深夜に勤務した時間1時間につき1時間あたりの給与の100分の25 | 同じ | — | 0 千円 | 0 円 |
| 宿日直手当 | 宿日直勤務1回につき 4,200円 | 同じ | — | 0 千円 | 0 円 |
| 管理職特別勤務手当 | 管理職職員が臨時又は緊急の必要等により週休日等に勤務した場合1回あたり定額 (最高6,000円) | 同じ | — | 0 千円 | 0 円 |
| 寒冷地手当 | 支給対象地域に在勤する職員の世帯区分に応じ11月～3月まで月額定額 (月額最高17,800円) | 同じ | — | 4,289 千円 | 60,404 円 |
| 災害派遣手当 | 災害復旧等のため、災害対策基本法等に基づき国等から派遣された職員に対し日額定額 (日額最高6,620円) | | | 0 千円 | 0 円 |

5 特別職の報酬等の状況（28年4月1日現在）

| 区 分 | | 給 料 | 月 額 | 等 |
|------------------|------------------------|---|--|--------|
| 給 料 | 市 区 町 村 長 | 820,000 円 (- 円) | (参考) 類似団体における最高/最低額 830,000 円 / 492,000 円 | |
| | 副 市 町 村 長 | 620,000 円 (- 円) | 669,000 円 / 443,000 円 | |
| 報 酬 | 議 長 | 310,000 円 (- 円) | 316,000 円 / 176,000 円 | |
| | 副 議 長 | 250,000 円 (- 円) | 255,000 円 / 122,400 円 | |
| | 議 員 | 230,000 円 (- 円) | 233,000 円 / 103,000 円 | |
| 期 末 手 当 | 市 区 町 村 長 副 市 町 村 長 | (27年度支給割合) 3.10 月分 (加算措置) 40% | | |
| | 議 長 副 議 長 議 員 | (27年度支給割合) 3.10 月分 (加算措置) 40% | | |
| 退 職 手 当 | 市 区 町 村 長 副 市 町 村 長 | (算定方式) | (1期の手当額) | (支給時期) |
| | 備 考 | 820,000円×在職月数×0.567=22,317,120円 620,000円×在職月数×0.331=9,850,560円 任期毎 任期毎 | | |

- (注) 1 給料及び報酬の()内は、減額措置を行う前の金額である。
2 退職手当の「1期の手当額」は、4月1日現在の給料月額及び支給率に基づき、1期(4年=48月)勤めた場合における退職手当の見込額である。

6 職員数の状況

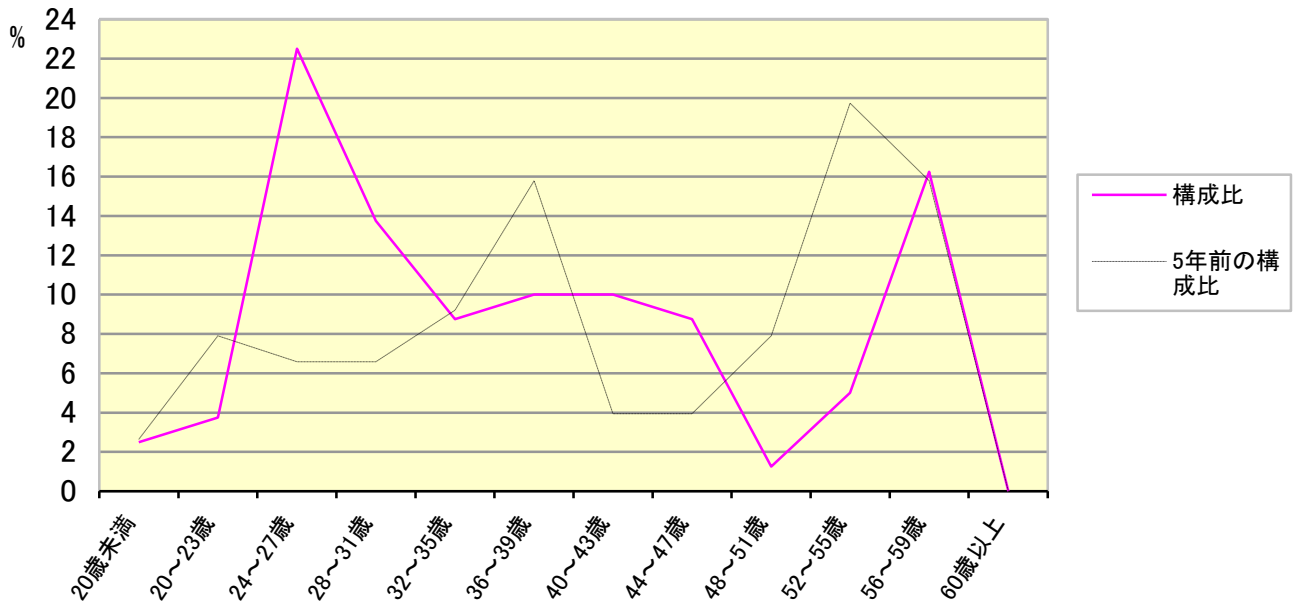
(1) 部門別職員数の状況と主な増減理由

(各年4月1日現在)

| 部 門 | 区 分 | | 職 員 数 | | 対 前 年 増 減 | 主 な 増 減 理 由 |
|----------------------------|----------------------------|--------------|--------------|------------|--------------|---------------------------------------|
| | 平成27年 | 平成28年 | | | | |
| 普 通 会 計 部 門 | 一 般 行 政 部 門 | 議 会 | 1 | 1 | 0 | 欠員補充・子育て支援の充実(保育士) 機構改革による事務事業の見直し |
| | | 総務 | 19 | 19 | 0 | |
| | | 税務 | 4 | 4 | 0 | |
| | | 民生 | 16 | 17 | 1 | |
| | | 衛生 | 5 | 5 | 0 | |
| | | 農林水産 | 9 | 8 | △1 | |
| | | 商工土木 | 2 | 2 | 0 | |
| 計 | 62 | 62 | 0 | | | |
| | 教育部門 | 10 | 10 | 0 | | |
| | 消防部門 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 小 計 | 72 | 72 | 0 | | |
| 公 営 企 業 等 | 水 道 そ の 他 | | 3 | 3 | 0 | 最上地区広域連合への派遣職員の増員 |
| | | | 4 | 5 | 1 | |
| | 小 計 | 7 | 8 | 1 | | |
| 合 計 | | 79 [94] | 80 [94] | 1 [-] | | |

- (注) 1 職員数は一般職に属する職員数である。
 2 []内は、条例定数の合計である。

(2) 年齢別職員構成の状況（28年4月1日現在）



| | | | | | | | | | | | | | |
|-----|-------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-------|-----|
| 区分 | 20歳未満 | 20歳～23歳 | 24歳～27歳 | 28歳～31歳 | 32歳～35歳 | 36歳～39歳 | 40歳～43歳 | 44歳～47歳 | 48歳～51歳 | 52歳～55歳 | 56歳～59歳 | 60歳以上 | 計 |
| 職員数 | 2人 | 3人 | 18人 | 11人 | 7人 | 8人 | 8人 | 7人 | 1人 | 4人 | 11人 | 0人 | 80人 |

(3) 職員数の推移

| 部門別 \ 年度 | 23年 | 24年 | 25年 | 26年 | 27年 | 28年 | 過去5年間の増減数(率) |
|----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|--------------|
| 一般行政 | 58 | 59 | 57 | 58 | 62 | 62 | 4人(6.7%) |
| 教育 | 12 | 10 | 10 | 11 | 10 | 10 | △2人(△16.7%) |
| 普通会計計 | 70 | 69 | 67 | 69 | 72 | 72 | 3人(2.9%) |
| 公営企業会計計 | 7 | 6 | 7 | 6 | 7 | 8 | 1人(14.3%) |
| 総合計 | 77 | 75 | 74 | 75 | 79 | 80 | 3人(3.9%) |

- (注) 1 各年における定員管理調査において報告した部門別職員数。
 2 合併した団体にあつては、合併前の年については合併前の旧団体の合計職員数。